

重点戦略について

1. 戦略設定の考え方

設定の目的

・将来都市像実現のために特に重要な事項について、市政運営で重点的・分野横断的に政策・施策を推進するための政策パッケージ(目標設定、施策の関連付け)を明らかにし、各政策・施策の相乗効果を発揮させる。

設定の考え方

- ・市民の暮らしを中心とした本総合計画にふさわしい「将来都市像実現のための『鍵』」となる戦略(市民アンケート結果(右記)を考慮)
- ・三つの共通課題を前提とする中で、まちの総合力強化によりその影響を緩和・解消し、まちの持続性を確保し、未来を切り開いていくための戦略
- ・上越市ならではの「まちの力」を生かし、市民・企業などとともにまちづくりを進めていく「共通目標」となる戦略

参考：市民の声アンケート結果より（H26.1月実施）

生活実感下位5項目		現在満足度下位5項目		重要度上位5項目	
1	観光PR	1	公共交通利便性	1	防災対策
2	働く場	2	商業の振興	2	雪対策
3	娯楽・レジャー	3	再生可能エネルギー	3	医療体制充実
4	市民の声	4	観光の振興	4	防犯対策
5	NPOボランティア	5	新産業の創出	5	介護サービス

重点戦略関連項目以外は分野別基本施策等にて対応

2. 戦略の概要

戦略名	戦略の概要	ポイント	イメージ(例)	目標 中期目標は、6次総期間の目標 長期目標は、将来的な目標
暮らし 暮らしの安心感を高める つながりの構築	<p>市民の暮らしの安心感を支える「人と人」「人と地域」「地域と地域」の支え合いのつながりの構築・強化と、公共交通による生活の足の確保につながる施策を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>まちの力 ・活発な地域活動 ・多様な市民活動団体</p>	<p>目的に応じ、行政・団体・地域・市民・事業者など最適な構成員によるネットワークの構築・強化</p> <p>地域の実情に即した効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの確保</p>	<p>総合的な子どもの育ちの支援ネットワーク強化 自主防災組織の結成促進や活動の支援 総合的な健康づくりのためのネットワーク強化 高齢者の見守り・支援のためのネットワーク強化 高齢化の進んだ集落を支援するためのネットワーク構築 地域ぐるみでのこどもたちの育成 こどもや高齢者の「生活の足」の確保 など</p>	<p>中期目標 安心感が高い 「住みたいまち」の実感向上</p> <p>長期目標 安心感が高いので、暮らしたいまちとして「選ばれる」</p>
産業 地域の元気と働きがいを生む 産業の創出	<p>地域資源をいかした産業創出による地域内経済循環の向上を通じた地域経済の強化や、市民の暮らしの基礎となる働く場の選択肢の拡大につながる施策を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>まちの力 ・地域資源全般(自然、農業、歴史、文化、エネルギーなど) ・ものづくり産業 ・都市インフラ</p>	<p>農業・産業振興の枠を超えた地域内経済循環の向上</p> <p>働く場の選択肢拡大のために必要な条件整備</p>	<p>地勢やエネルギー資源をいかした産業の立地促進 起業・創業の促進 学生と地域企業のマッチング 6次産業化の支援 担い手の確保 森林資源の利活用 など</p>	<p>中期目標 「選ばれる産品」づくりの推進 働く場が選択できる 「住みたいまち」の実現 事業活動の場として「選ばれる」</p> <p>長期目標 働く場が選択できる 暮らしたいまちとして「選ばれる」</p>
交流 交流圏の拡大をいかした 豊かさの向上	<p>類まれな地勢や、広域交通ネットワークの一層の強化による交流圏の拡大は、当市ならではの暮らしの豊かさ高める重要なチャンスであることから、多様な交流が生み出す波及効果を拡大し、市民の暮らしの豊かさ向上につなげる施策を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>まちの力 ・広域交通ネットワーク(北陸新幹線開業、上信越自動車道4車線化、上越魚沼地域振興快速道路) ・地域資源全般(自然、農業、歴史、文化など) ・都市施設(新水族館、武道館)</p>	<p>多様な目的による交流の促進</p> <p>交流圏拡大の効果を市民の暮らしの豊かさにつなげるための仕組みの構築</p>	<p>新水族館を核とした地域活性化の効果拡大 広域的な商業吸引力の向上 東京オリンピック(2020年)に関連したスポーツ振興 歴史・文化資源をいかした誘客促進 越後田舎体験事業の推進 など</p>	<p>中期目標 多様な目的地として「選ばれる」 交流拠点として「選ばれる」 交流を通じて豊かな暮らしができる「住みたいまち」 としての実感向上</p> <p>長期目標 交流を通じて豊かな暮らしができるまちとして「選ばれる」</p>